

令和3年10月27日(水) 18:00~19:10

場所 本校大会議室

進行:定時制3部副校長

記録:保健厚生課

出席者:学校医4名(内科、耳鼻科、眼科、精神科)、学校歯科医1名、学校薬剤師1名、スクールソーシャルワーカー1名、スクールカウンセラー2名、定時制PTA会長、副会長、通信制FTA会長、校長、定時制副校長、通信制副校長、定時制・通信制職員 計31名

1 健康診断結果を受けて

～学校医よりアドバイス～

歯の病気は全身の病気

口の中の健康状態から、全体の病気の発見につながることもある。

かかりつけの歯科医を持つ人の方が、異変を感じた時だけ歯科を受診する人よりも、全体の医療費が下がると言われている。毎日のデンタルケアと定期的な歯科受診が大切。

顎関節の有所見者が増加

コロナ等でストレスを感じている可能性が高いと言われている。かみ合わせも含めて口の中の健康を整えたい。

やせすぎと高度肥満

やせすぎ(BMI18.5以下)と高度肥満(BMI30以上)ともに死亡率が高いというデータがある。今のうちから、
①食事 ②睡眠 ③適度な運動
を心がけたい。

矯正視力「C」「D」判定の増加

インターネットやスマートフォンなどの活用方法を見直す。
長時間使用し続けず、短時間でも目を休ませることを心がける。時々遠くを見るよう声掛けを。
視力検査結果の数値化を求めたい。

2 コロナ対策について

～学校薬剤師よりアドバイス～

マスクの装着意義

引き続き、「手洗い」「うがい」「マスク」「換気」「3密を避ける」を徹底してほしい。

マスクはウイルスを寄せ付けない。ウイルス対策には、湿度50～60%に保つのが大切だが難しい。マスク内部の湿度は、70～80%なので、マスクをつけてほしい。

本校での取り組み

〈設備整備〉

- ・サーキュレーター
- ・非接触型体温計
- ・消毒用オートディスペンサー
- ・飛沫防止パネル
- ・CO2モニター
- ・サーモカメラ
- ・レバー式蛇口

を設置しました。

〈学校生活〉

- ・講演会等の分散開催
- ・6校時終了後の消毒作業
- ・生徒の検温、健康状態の確認
- ・3密防止の呼びかけ
などを行っています。

3 保健室の来室状況から

「生徒の成長を目指して～保健室利用状況からみる生徒の様子～」と題し出席者で意見を交わしました。

保健室利用状況

1～12校時(8:30-21:30)、土曜日以外は保健室の利用ができます。

利用の仕方は、体調不良、ケガ、話をしたい人、忘れ物をした人、少し休みたい人、検温など様々です。

将来的自立

人との距離感をつかむのは難しい。人に頼るということを身に付けることが大切。(カウンセラー)

しんどさの対処

しんどさを自分なりに対処する。保健室に来る、動くと発散されるなども表現の1つ。対処法を学ぶことが大切。学校での表現の幅を広げてほしい。(カウンセラー)

合理的配慮

一人ひとりに合わせた支援、配慮をお願いしたい。(スクールソーシャルワーカー)

養護教諭
より

1年目は単位を取れなかった生徒が、2年目になり「単位がとれたよ」と報告してくれる。頑張った姿、成長した姿を見るとうれしい。

「話したい」という気持ちはいいこと。自分の気持ちを話しているうちに発散でき、理解していく。保健室が、ガス抜き、自分と向き合う、友人関係づくり、リセットし、気持ちが落ち着く場になればという思いでいます。

4 保護者の方より

・高校に入ると保護者のつながりも減り、家でどう対応していいか悩むことも多い。保健室から保護者を対象にした発信があるとありがたい。

→昨年度も保護者向けの研修会を要望する声があったが、コロナ禍ということもあり開催が難しかった。また、今回の学校保健委員会の出席人数を減らさざるを得なかった。

・保健室に行くのが難しい子へのケアはどうなっているのか教えてほしい。

→学校支援員が校内を巡回し、生徒に声をかけたり、生徒の相談に乗ったりしている。本校職員も、生徒の様子を観察し、面談を実施している。